

今日は何の日



母の日があり、海の日があるように、毎年七月最終金曜日は「システム管理者感謝の日」。今年は、二十五日がこの記念日に当たる。日ごろシステム管理者は、重要な役割を果たしているにもかかわらず、感謝され敬意を払われる機会があまりにも少ない。しかし、実は彼らの静かな使命感が、コンピュータシステムの安定稼働を支えているのである。だから今日は、システム管理者に感謝し、小さなプレゼントを渡したり、話を聞いたりしてみよう。システム管理者感謝の日は、利用者とシステム管理者との関係を見直す、またとないチャンスの日になるはずだ。

システム管理者感謝の日

[System Administrator Appreciation Day]

日本でも昨年からイベントスタート

日本で「感謝の日」イベントを主催する ビーエスピー社長に聞く

ハウジングでもSaaS利用でもシステム管理者は必ずどこかにいる

ビーエスピーという日本の使命と責任感とプライドを会社が、そしてシステム管理を持ってコンピュータシステム管理者感謝の日の普及に率先しての安定稼働を支え続けていて取り組んでいるのか。それシステム管理者へ、一年には、システムを運用管理する一度感謝する。そんな記念日も、そのコンピュータ環境を、広く共感していただきたく環境を使う人も、ともにハッピーと願っています。

現状では、システムが止まることを恐れるのがシステム管理者の役割であり、感謝される機会がはたにありません。

システム管理者自身も変わるきっかけの日にしよう

世の中は、データセンター用管理の仕事にかかわってき、インフラネットワーク経由の立場は二、三十年間、一向提案したいのは、「もっと人（SaaS）サービス」に変わっていきませんか。依然として縁の下力持ちであり、システムは人が使うもので、クラウドコンピューティングなど感謝を受けることのない「顔」かかって、とにかく運用管理の見えない存在です。

私は二十五年にわたって運用管理の仕事にかかわってき、システム管理者自身もです。例えば、提案したいのは、「もっと人（SaaS）サービス」に変わっていきませんか。依然として縁の下力持ちであり、システムは人が使うもので、クラウドコンピューティングなど感謝を受けることのない「顔」かかって、とにかく運用管理の見えない存在です。



「経営者も、ユーザーも、システム管理者自身も意識を変えるきっかけの日にしたい」

ビーエスピー 社長 竹藤 浩樹氏

●たけふじ・ひろき
1984年、日本大学卒。同年ビーエスピー入社。同社カスタマーサービス部長、米国子会社BSPインターナショナルの最高経営責任者(CEO)などを経て、2004年、社長に就任。

●社概要
システム運用分野に特化したソフトウェアの開発・販売・サポートなどを展開する独立系パッケージベンダー。同社が販売してきた純国産の運用管理ツール「A-AUTO(エーオート)」は、昨年発売30周年を迎えた。2006年3月、ジャスダック上場。

広告

企画・制作＝日本経済新聞社広告局

「年に一度だけでも……」 会社を支えてくれている人たちへ感謝



コンピュータシステムは、昼夜を問わず膨大な量のデータを処理している。これが止まれば、電気・ガス・水道が止まり、電話もつながらなくなり、電車も動かさず、物も届かず、お金を動かすこともできない。コンピュータシステムは、企業活動のみならず、社会全体の重要な基盤だ。そして、企業活動や社会全体の基盤を安定して機能させるためには、システム管理者が不可欠だ。臨機応変に適切な指示を出し、状態が悪いときには昼夜を問わず復旧作業に取り組みシステム管理者がいろいろなから、多種多様なコンピュータシステムは止まることなく動き続けているのである。

システム管理者は、社会基盤を支える重要な存在だ。しかし、一般の人たちからは見えないところで働く「縁社」への理解が、社へ導入していったカトス氏案したのである。

大変だけれど評価されにくい システム管理という仕事

コンピュータシステムは、企業活動のみならず、社会全体の重要な基盤だ。そして、企業活動や社会全体の基盤を安定して機能させるためには、システム管理者が不可欠だ。臨機応変に適切な指示を出し、状態が悪いときには昼夜を問わず復旧作業に取り組みシステム管理者がいろいろなから、多種多様なコンピュータシステムは止まることなく動き続けているのである。

感謝の日の普及活動 ビーエスピーが取り組む

「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。



プチ感謝の日に手渡す感謝グッズ

年に一度の感謝デー

「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。

もともとは米国でスタート

「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。今年七月の最終金曜日、今年で二十五年が経つ「感謝の日」は、システム管理者への感謝の気持ちを伝えるためのイベントだ。



約1時間半にわたる懇親会で、システム管理者同士が交流を深めた



イベント当日は、まず日本女子大学人間社会学部現代社会学科・教授の大沢真知子氏が「ワークライフバランスの実践～仕事と生活の両立のために～」と題して基調講演を行った



「最も感謝されるべきシステム管理者」というワードの選出・授賞も行われた

今年度の「最も感謝されるべきシステム管理者」というワードの選出・授賞も行われた。今年度の「最も感謝されるべきシステム管理者」というワードの選出・授賞も行われた。



第2回「システム管理者感謝の日」イベント、日本では7月18日に開催 500人以上が参加

「活動の認知度も高まり、参加者も増え、今年度は、七月十八日に開催された。今年度は、七月十八日に開催された。今年度は、七月十八日に開催された。」